

# 教 育 目 標

## (美術学科)

現代の社会において知性と感性の統合を取戻し、感性豊かな人間性を高める事を目的とし、森羅万象という風な仕組みでいろいろなものが存在しているのか、どんな現象が現れているかなどを動・植物、地球全体を含め、モノとしての観察を基本とし美術を感覚的にとらえる感性を教育に活かし、その追求に情熱をもった表現力豊かな人材育成を目標とする。

## (デザイン学科)

デザイン学科では、学生の4年間で1年ごとの目標を設定している。

1年次：発見、2年次：確認、3年次：追究、4年次：展開 である。

1年次の発見は、広いデザインの世界を正確に理解するには多くのデザインの世界を知らなくてはならない。そこで全教員によるデザインの世界をオムニバス方式による授業で解説することによって再発見を促す。

2年次の確認は1年次に再発見した自分の専門分野を多くの実習・演習を通して確認していく。

3年次の追究は2年次に確認した専門分野にテーマを持ってデザイン・プロセスを追求していく。そのためにゼミ制をとっている。

4年次の展開は3年次までに修得した知識・技術をもって役に立つコンテンツ制作を通して世の中に展開していく。

① 導入教育：コア科目（8科目各24単位）を設定し、広くデザイン分野の知識を理解。習得することによって自分の進路を発見または再確認することを目的とする。

1年次：デザイン基礎実習Ⅰ・デザイン基礎実習Ⅱ…コミュニケーションデザイン論演習、デジタルデザイン基礎演習

2年次：デザイン発想論演習・映像表現論演習・ヴィジュアルデザイン演習・造形材料論演習

② 教養教育：

・人間科学分野（9科目16単位中10単位を取得）

人間の尊厳や人としての在り方・倫理観を学び、心身ともに健康で過ごすことを目標とする。

1年次：歴史学と課題・生涯スポーツ実習Ⅰ・生涯スポーツ実習Ⅱ

2年次：日本の文学・外国の文学・人間と教育・健康スポーツ科学理論

3年次：人間と心理・日本国憲法

・外国語分野（12科目24単位中10単位を取得）

様々なコミュニケーションを通して、デザインを世界的視野で理解・考察するための言語能力を養うことを目的とする。

1年次：英語Ⅰ・英語Ⅱ

2年次：英語Ⅲ・英語Ⅳ・フランス語Ⅰ・フランス語Ⅱ・中国語Ⅰ・中国語Ⅱ

3年次：フランス語Ⅲ・フランス語Ⅳ・中国語Ⅲ・中国語Ⅳ

③ 専門基礎：14科目34単位中20単位取得

デザインにおける幅広い専門知識を身に付け、個々の専門領域の研究に必要な体力・気力・知力を養うことを目的とする。

1年次：日本美術史・西洋美術史・東洋美術史・美術概論・デザイン概論・基礎デッサンⅠ・基礎デッサンⅡ・コンピュータ基礎実習・美術領域論Ⅰ・美術領域論Ⅱ・デザイン領域論Ⅰ

2年次：西洋彫刻論・色彩論演習・デザイン領域論Ⅱ

④ 専門教育：各コース共に44単位の選択必修及び卒業研究16単位

専門領域の研究を通して、創造性・独創性豊かな心を養い、現社会において広範かつ柔軟な文化活動の出来る人材を育成することを目的とする。

## その他、デザイン学科における情報教育の考え方

情報教育：情報教育とはコンピュータリテラシーを学ぶことだけではないと考える。コミュニケーションあつての情報であり、プレゼンテーションあつての情報である。コミュニケーションの方法、情報収集の方法、情報の種類、著作権の問題、情報を伝えるプレゼンテーション、情報の質の見極めなど情報とコミュニケーション、プレゼンテーションの関わりを学ぶ。専門ソフトウェアに関しては各授業科目を通して習得する。その他の基本的なソフトウェアに関しては、授業以外の空き時間を使用してデザイン・ベーシック・リテラシー教育の一環として実施する。プレゼンテーションに関しては、前期・後期に1年から4年生全員による1週間にわたって行われるプレゼンウィークにて半年間の成果を発表するシステムを実施している。